

平成 19 年度

奈良市職員採用試験案内

平成 19 年 7 月 26 日
奈良市職員任用試験委員会

平成 20 年度採用予定者の採用試験を次のとおり行います。

1 職種、採用予定人員、受験資格等

| 職種 / 区分 | | 採用予定人員 | 受験資格 | 仕事の内容 | (参考)19年度採用 | |
|---------|----|--------|---|--|--------------|-------------|
| | | | | | 受験者数 | 最終合格者数 |
| 一般事務 | 大学 | 48 人程度 | 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | 市長事務部局、教育委員会その他の行政委員会事務局、議会事務局又は水道局において行政事務全般に従事します。 | 451 | 49 |
| | 短大 | | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学(注 2)を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| | 高校 | | 昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校を卒業した人若しくは平成 20 年 3 月卒業見込みの人又は高等学校卒業程度の学力を有する人 | | | |
| 保育士 | | 10 人程度 | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、保育士の資格を持っている人又は平成 20 年 3 月までに取得見込みの人 | 保育所において、乳幼児の保育業務に従事します。 | (注 1) 114 | (注 1) 10 |
| 土木職 | 大学 | 12 人程度 | 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | 市長事務部局又は水道局において行政事務の土木に関する専門業務に従事します。 | 27 | 14 |
| | 短大 | | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学(注 2)の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| | 高校 | | 昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| 機械職 | 大学 | 2 人程度 | 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | 市長事務部局又は水道局において行政事務の機械に関する専門業務に従事します。 | (注 1) 16 | (注 1) 1 |
| | 短大 | | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学(注 2)の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| | 高校 | | 昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |

| | | | | | | |
|-------|----|--------|---|---|----|----|
| 電 気 職 | 大学 | 2 人程度 | 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | 市長事務部局 又は水道局において行政事務の電気に関する専門業務に従事します。 | 4 | 2 |
| | 短大 | | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学(注 2)の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| | 高校 | | 昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校の専門課程を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| 消 防 職 | 大学 | 15 人程度 | 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による大学を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | 消防署等において、消火、救急、火災の予防、防災等消防業務に従事します。 | 62 | 10 |
| | 短大 | | 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による短期大学(注 2)を卒業した人又は平成 20 年 3 月卒業見込みの人 | | | |
| | 高校 | | 昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校を卒業した人若しくは平成 20 年 3 月卒業見込みの人又は高等学校卒業程度の学力を有する人 | | | |

(注1) 保育士については平成14年度採用、機械職については平成17年度採用の数値を使用しています。

(注2) 「短期大学」には高等専門学校及び学校教育法による専修学校の専門課程のうち、修業年限が2年以上であり、かつ、1,600 時間以上の授業の履修を義務づけている課程であって、当該履修の成果が授業科目の目標に達していることを筆記試験その他の方法により認められることを卒業の要件とするもの(当該受験資格該当課程であることの証明が得られるものに限る。)を含みます。

○ 次のいずれかに該当する人は受験できません。

- (1) 成年被後見人及び被保佐人(民法の一部を改正する法律の規定により従前の例によることとされる準禁治産者を含む。)
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 奈良市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
- (4) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (5) 日本国籍を有しない人で在留資格において就職等が制限されている者

○ 消防職は、上記のほか、次の条件を満たさない人は受験できません。

- (1) 日本国籍を有する人
- (2) 男性の場合、身長 160 cm 体重 50kg 以上の人。女性の場合、身長 155 cm 体重 45kg 以上の人
- (3) 両眼とも裸眼視力が 1.0 以上である人又は裸眼視力が 0.1 以上で矯正視力が 1.0 以上の人
- (4) 赤色、青色及び黄色の色彩の識別ができる人
- (5) 聴力が左右とも正常な人
- (6) 言語が明瞭で十分発声できる人
- (7) 職務遂行に必要な体格、体力を有し健康である人
- (8) 任用後は本市域内に居住できる人又は試験委員会が認める本市の近郊地域に居住できる人

※ 区分が「大学」の人は、「短大」又は「高校」を受験できません。また、区分が「短大」の人は、「高校」を受験できません。

2 試験の日時・場所・方法及び合格発表

| 項目 | 区分 | 第1次試験 | 第2次試験 | 第3次試験 |
|-------|----|--|--|---------------------|
| 日時 | | 平成19年9月16日(日) 午前9時集合 正午終了予定 土木職・機械職・電気職は午後2時30分終了予定 | 平成19年10月中旬 (予定) | 平成19年11月上旬 (予定) |
| 場所 | | 平成19年8月20日(月)以降に郵送又は送信する受験票で確認してください。(奈良市立一条高等学校、奈良市役所、奈良市立三笠中学校のいずれかになります。) | 奈良市役所等 | 奈良市役所 |
| 試験の種類 | | 教養試験 (全職種) 社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する能力について、択一式の筆記試験を行います。 専門試験 (土木職・機械職・電気職) 職種に応じて、必要な専門的知識、技術等の能力について、記述式の筆記試験を行います。 (出題分野は別表参照) | 口述試験 (全職種) 集団討論を行います。 ----- 体力テスト (消防職) 持久力・瞬発力等を測定します。 ----- 音楽等実技試験 (保育士) | 口述試験(個別面接)、小論文、適性検査 |
| 合格発表 | 日時 | 平成19年10月2日(火) 午後3時 (予定) | 平成19年10月下旬 (予定) | 平成19年11月下旬 (予定) |
| | 方法 | 【本人通知】 合否にかかわらず受験者全員に郵便で通知します。 【掲 示】 奈良市役所前掲示場 ※なお、あわせてホームページ(http://www.city.nara.nara.jp)による発表を行います。合否の最終確認は上記2つのいずれかの方法で必ず行ってください。 | | |

(注) 第1次試験当日は、受験票(写真を必ず貼っておくこと)、試験会場が奈良市立一条高等学校及び奈良市立三笠中学校の場合は、上ばき(スリッパなど)及び靴入れ(ビニール袋など)を必ず持参してください。**受験票がないと受験できません。**また、土木職・機械職・電気職の職種を受験する人は、各自昼食を用意してください。

※ 試験当日、災害等により試験開始時間の変更又は試験が延期される場合は、奈良市ホームページ(<http://www.city.nara.nara.jp>)においてお知らせします。

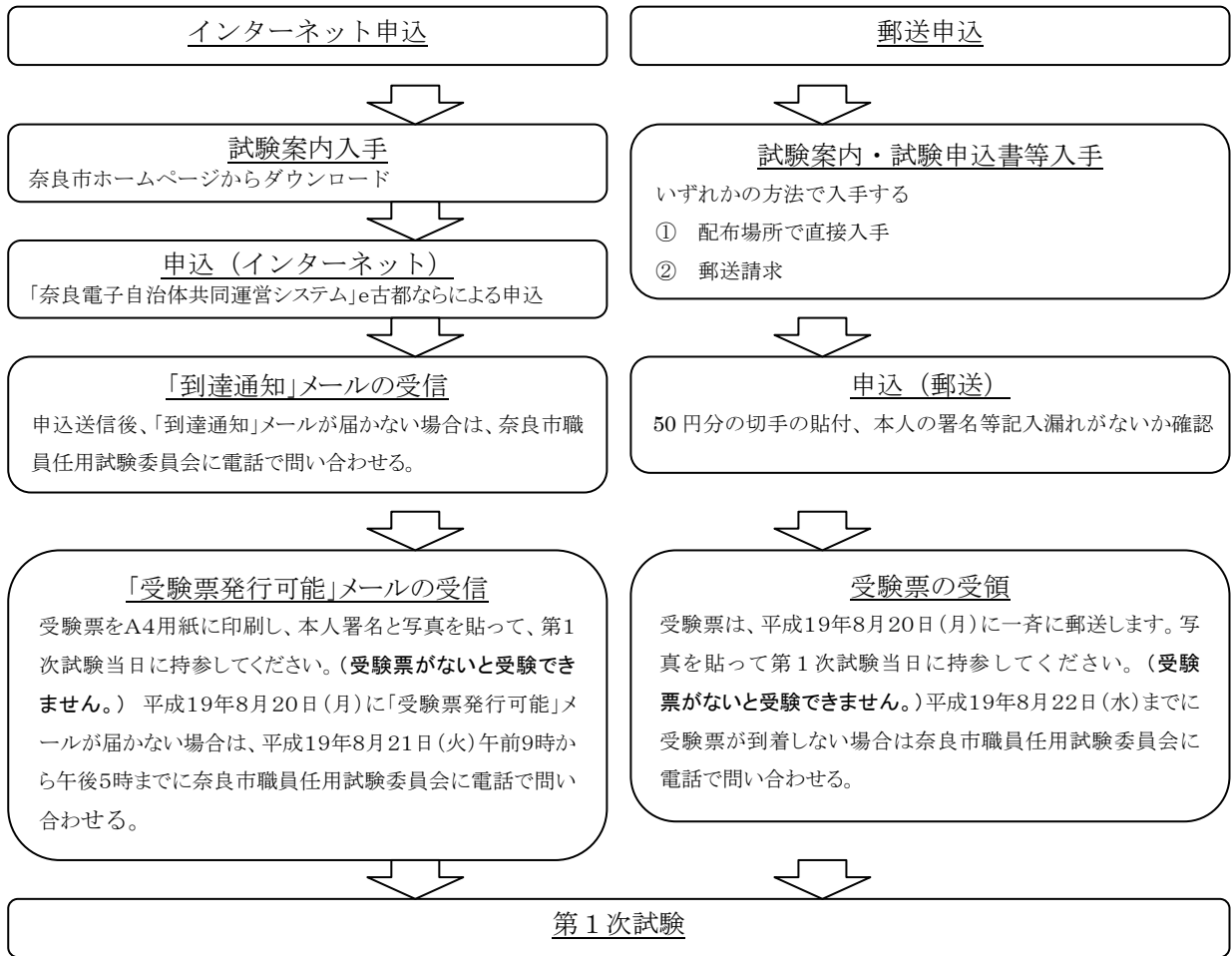
別表

| 職 種 | 専 門 試 験 の 出 題 分 野 |
|-------|--|
| 土 木 職 | 数学・物理・情報技術基礎、土木基礎力学(構造力学、水理学、土質工学)、土木構造設計、測量、社会基盤工学及び土木施工等 |
| 機 械 職 | 数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学、機械設計、機械材料及び機械工作等 |
| 電 気 職 | 数学・物理・情報技術基礎、電気基礎、電気機器・電力技術、電子技術・電子回路、電子情報技術及び電子計測制御等 |


3 受験手続

| | |
|---------------|---|
| 試験申込書の配布 | 平成19年8月1日(水)から奈良市役所中央棟5階人事課内奈良市職員任用試験委員会において配布します。 |
| 試験申込書の郵送による請求 | 封筒の表の左下に「受験用紙請求」と赤字で書き、120 円切手(1部の場合)を貼ったあて先と郵便番号を明記した返信用封筒(角型2号:長さ 33.2cm、幅 24.0cm 程度。折りまげ可)を必ず同封してください。 ※試験案内については、奈良市ホームページの職員採用情報のページからダウンロードできますが、試験申込書については、ダウンロードできません。 |

※ 受験申込から第1次試験までの流れ（インターネット又は郵送のいずれかの方法で、受験申込をしてください。）



インターネット又は郵送のいずれかの方法で、受験申込をしてください。持参による受験申込はできません。

| | |
|---|---|
| インターネットによる申込 ※「奈良電子自治体共同運営システム」e古都ならを利用して、受験申込をしてください。 | ①奈良市ホームページから、  をクリックして、 ご利用方法 を読んだあと、画面の指示に従って申し込んでください。 ②利用者登録がまだの方は、 利用者登録・変更 をクリックし、利用者ID、パスワード等必要事項を正確に登録してください。（受験申込を含む申請・届出サービスの基礎データになります。） ③登録した利用者ID、パスワードによりログインのうえ、受験申込を行ってください。 ※申込送信後に「到達通知」のメールが届きますので、必ず確認してください。届かない場合は奈良市職員任用試験委員会に必ず電話でお問い合わせください。 ④受験票は、平成19年8月20日（月）に「受験票発行可能」のメールが届きましたら、「奈良電子自治体共同運営システム」e古都ならを通じて発行します。受信した受験票は、各自A4用紙にプリントアウトし、所定の箇所に写真（最近3ヶ月以内に撮影した同一の上半身の写真（縦4cm×横3cm））を貼付して、本人署名欄に自署し、第1次試験当日に持参してください。 受験票がないと受験できません。 ※平成19年8月20日（月）に「受験票発行可能」のメールが届かない場合は、平成19年8月21日（火）午前9時から午後5時までに奈良市職員任用試験委員会に必ず電話でお問い合わせください。 |
| | 申込受付期間は、平成19年8月1日（水）から8月9日（木）までです。 平成19年8月1日（水）は午前9時から、8月9日（木）は午後5時まで受信したものを受け付けします。 ※申込受付期間中にサーバーがメンテナンス等により停止している場合には、期間内の他の日に申込するか、郵送により申し込んでください。 |

| | |
|---------|--|
| 郵送による申込 | <p>「試験申込書・受験票・受験登録カード」に必要な事項を記入すること。(特に土木職・機械職・電気職については、専門課程が分かるように学部・課程名欄に、必ず専門課程を明記すること。また受験票のはがきに写真は貼らずに、郵便番号、住所、氏名を明記し50円切手を貼る。)</p> <p>※封筒の表に「試験申込書」と赤字で書き、提出書類「試験申込書・受験票・受験登録カード」を封入して簡易書留等確実な方法で郵送してください。宅配便のシステムを利用したメール便等による申込は、消印日を特定できないため、受け付けできません。</p> <p>※試験申込書等の記入内容に不備のあるときは、受け付けできませんので返送します。</p> |
| | <p>申込受付期間は、平成19年8月1日(水)から8月15日(水)(8月15日付け消印有効)までです。</p> |
| | <p>受験票は、平成19年8月20日(月)に一斉に郵送します。写真(最近3ヶ月以内に撮影した同一の上半身の写真(縦4cm×横3cm))については、発行(郵送)後に貼付して、第1次試験当日に持参してください。受験票がないと受験できません。平成19年8月22日(水)までに受験票が到着しない場合は、奈良市職員任用試験委員会に必ず電話でお問い合わせください。</p> |

- ・消防職の第2次試験合格者に対して、奈良市指定の「健康診断書」の提出を求めます。
 - ・「短大」の区分で受験する専修学校を卒業又は平成20年3月卒業見込みの人で、第3次試験合格者に対して、「専修学校の証明書」(卒業証明書・在学証明書ではありません。書式例は別記(6ページ参照)のとおり)の提出を求めます。
 - ・保育士の第3次試験合格者に対して、資格の写しの提出を求めます。
 - ・第3次試験合格者全員に対して「最終学校卒業証明書」の提出を求めます。
- ※提出書類は一切お返しいたしません。

4 試験結果の開示

第1次試験及び第2次試験の結果(総合得点又は得点及び順位)並びに第3次試験の結果(総合得点及び順位)について、それぞれ合格発表の日から1月間、奈良市個人情報保護条例に基づき、口頭により開示を請求することができます。受験者本人が、本人であることを証明する書類(運転免許証等)を持参の上、土曜・日曜・祝日を除く午前9時～午後5時の間に人事課へお越しください。電話等による請求はできません。第1次試験、第2次試験及び第3次試験の各試験には、それぞれ合格基準がありますので各試験の基準に達しない場合は、総合得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

5 合格から採用まで

- (1) 受験資格がないこと又は試験申込書の記載事項が正しくないことが判明した場合には合格を取り消すことがあります。
- (2) 第3次試験合格者は第3次試験合格発表日に作成する採用候補者名簿に登載し、平成20年4月に採用の予定です。
- (3) 採用候補者名簿は、原則として1年間有効です。
- (4) 最終合格者のうち、卒業見込みの人については平成20年3月31日までに卒業できなかった場合及び資格を必要とする職種の人については所定の時期までに取得できなかった場合は、採用候補者名簿から抹消します。

6 給与その他(給料月額が平成19年4月1日現在の給料表に基づいています。)

- (1) 初任給(給料月額)は、一般事務・土木職・機械職・電気職(いずれも大学)・176,800円、一般事務・土木職・機械職・電気職(いずれも短大)・保育士・消防職153,800円、一般事務・土木職・機械職・電気職(いずれも高校)142,800円で、このほか、地域手当、期末・勤勉手当が支給され、また、通勤手当、扶養手当、住居手当等がそれぞれの条件に応じて支給されます。
- (2) 勤務時間は、1週間当たり40時間です。

7 その他

| | |
|---------|---|
| 郵送のあて先 | 〒630-8580 (奈良市役所の特定郵便番号のため住所記入不要) 奈良市役所人事課内奈良市職員任用試験委員会 |
| 問い合わせ先 | 奈良市役所人事課内奈良市職員任用試験委員会 奈良市二条大路南一丁目1番1号 電話 (0742)34-4706=直通 又は 34-1111=代表 内線 2131・2132 |
| インターネット | http://www.city.nara.nara.jp にて情報を提供していますが、メールによる採用試験案内・試験申込書の郵送依頼や試験に関する問い合わせには応じられません。 |

専修学校証明書

1. 氏 名

2. 生年月日 昭和・平成 年 月 日

3. 学科名 学科 (昼・夜)

4. 在学期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

5. 学校教育法第82条の2に定める専修学校として許可を受けた日及び許可番号
許可年月日 年 月 日
許可番号

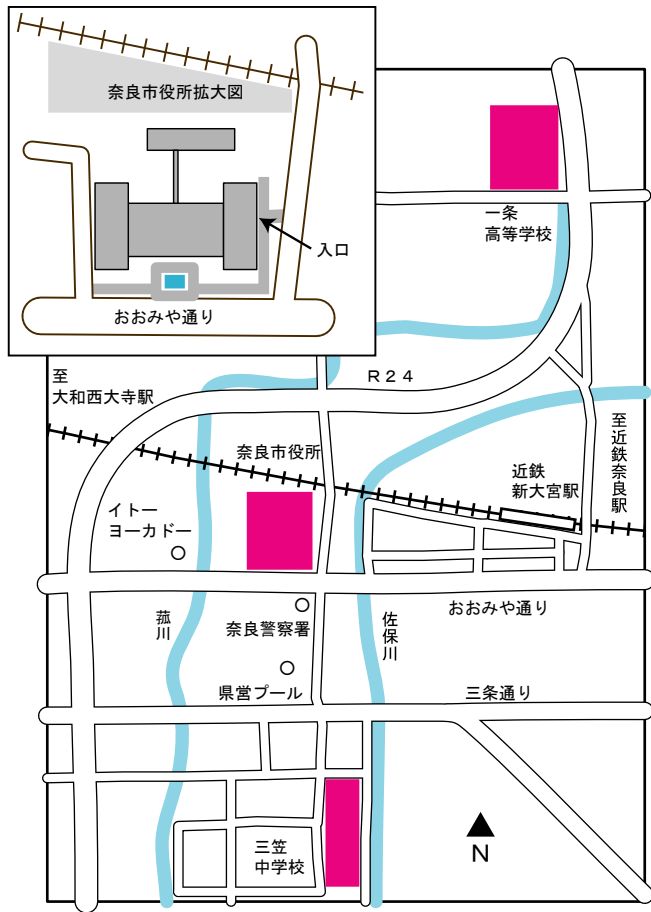
6. 修業年限 年

7. 年間授業時間数(卒業必要最低時間数) 時間

8. 一般教養科目 専門教育科目及びこれに関連する授業科目以外の一般教養科目の履修の義務づけ

9. 履修成果の認定 筆記試験により認定
上記のとおりであることを証明します。
平成 年 月 日
学校名
代表者名 (印)

試験会場略図



奈良市立一条高等高校 奈良市法華寺町 1351 番地

- (1) 近鉄新大宮駅下車 徒歩約20分
- (2) 奈良交通バス一条高校前下車
JR奈良駅から 約15分
近鉄奈良駅から 約10分
近鉄西大寺駅から 約10分

奈良市役所 奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号

- (1) 近鉄新大宮駅下車 徒歩約15分
- (2) 奈良交通バス奈良市庁前下車
近鉄奈良駅から 約10分

奈良市立三笠中学校 奈良市三条川西町 3 番 1 号

- (1) 近鉄新大宮駅下車 徒歩約25分
- (2) 奈良交通バス三笠中学校前下車
近鉄新大宮駅から 約 5分
JR奈良駅から 約10分

試験会場及びその周辺には駐車できませんので、車での来場は固く禁止します。